



相次いで九州地方を襲った台風 7611・7612号.

図は1976年7月23日8時14分(衛星が 62°N を通過した時刻)の、NOAA-4号の赤外放射計による写真である。2つの台風のうち、北のものは7611号で、急速に北上して翌朝豊後水道で弱い熱帯低気圧に衰え、その後を追うように、7612号が25日朝九州に上陸した。図では前者が後者の影響を受けて、雲塊が多少変形されている様子が認められる。

(黒崎明夫)